

2020.09.13 終わりの日の教会（新約聖書：第一テモテ 4章1節～6節）

<https://www.youtube.com/watch?v=KbHHzyCIdGU&t=3113s>

『終わりの日の教会』おはようございます、私たちの第二礼拝によるこそ。第一礼拝は聖書預言アップデートで、第二礼拝は説教です。聖書を一卷一卷、章毎、節毎に読み進めていきます。今日は、テモテへの手紙第一、4章に入り、テキストは1節から6節までです。どうぞ聖書をお開き下さい。お知らせしたいことがあります。私たちは、新しいウェブサイト を 立ち上げようとしています。jdfarag.orgです。YouTube が私たちのチャンネルを削除し、私たちを 検閲する事態になった場合に、これが私たちの 定番サイトになることを願ってます。第一礼拝で話しましたが、 私たちがまだYouTube を利用できているのは、 神の恵みによるものです私たちの発信内容は手加減してないので、 YouTube から削除されるのは 時間の問題だと見ています。だからこそ、この新しい定番サイトの準備を整えて、 稼働させてスタートを切りたいと思っています。このビデオの、説明フィールドにリンクがあります。 そのリンクをクリックしてください。皆さんのメールアドレスを入力して 登録していただければお手元に通知が届くようになります。この件に関しては 皆さんの忍耐に感謝します。少し時間がかかりますが、一刻も早く立ち上げたいと願ってます。また、皆さんのお祈りにも非常に感謝しています。それでは、神の御言葉の学びに入りましょう。 第一テモテ4章です。ここにいる方で、可能な方はお立ち下さい。無理な方は座ったままで結構です。私が読みますので、目で追って下さい。使徒パウロは聖霊によって書いてます。 第1節。

第一テモテ4章

「しかし、御霊が明らかに言われるように、 後の時代（終わりの日）になると、ある人たちは惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、 信仰から離れるようになります。」—1節—

「それは、良心が麻痺した、偽りを語る者たちの 偽善によるものです。」—2節—

「彼らは結婚することを禁じたり、 食物を断つことを命じたりします。しかし食物は、信仰があり、真理を知っている人々が 感謝して受けるように、神が造られたものです。」—3節—

「神が造られたものはすべて良いもので、 感謝して受けるとき、捨てるべきものは 何もありません。」—4節—

「神のことばと祈りによって、 聖なるものとされるからです。」—5節—

ですから、ポークチョップを楽しんでもいいのです。それは書かれてませんが。。

「これらのことを兄弟たちに教えるなら、 あなたは、信仰のことばと、自分が従ってきた 良い教えのことばで養われて、 キリスト・イエスの立派な奉仕者になります。」—6節—

ご一緒に祈りましょう。主よ、感謝します。天の愛なるお父様、 私たちはあなたにこの場所を感謝しています。あなたのこの教会、 あなたのこの御言葉、そして、これらのあなたの民を感謝します。主よ、私たちは飢え、渴いて あなたの御前に出ます。あなただけが御言葉のいのちのパンで、 その飢えと渴きを満たすことができると認めます。主よ、どうか私たちを養い、助け、 満たしてくださいますように。主よ、感謝します。 イエスの御名によって。 アーメン、アーメン。お座り下さい。 ありがとうございます。 ました。今日は、終わりの日の教会について、特に 真理からの離脱についてお話ししたいと思います。 悲しいことに、今日の教会の状況さえ見れば、それが、終わりの日の教会の描写と 一致していることが分かります。今日は、そういう話をしたいと思います。今日の聖書箇所最後の節、 6節から始めようと思います。面白い事に、パウロはテモテに、キリストの 立派な奉仕者としてこれらのことを 教えるようにと命じています。私もキリストの、立派な奉仕者になりたいと思っています。6節をざっと読ませてください。「これらのことを兄弟たちに教えるなら、」私がそれを強調したいのは、パウロは、「これらのことを正すなら」とは言わないからです。それが重要なのです。率直に言って、それはプレッシャーを 取り除いてくれるのです。それを正そうとするのは、私のする事ではありません。私がするのは、それを教えることだけです。「これらのことを兄弟たちに教えるなら、あなたは、信仰のことばと、

自分が従ってきた 良い教えのことばで養われて、キリスト・イエスの 立派な奉仕者になります。それについて興味深いのは、真理に従うことからの 離脱があるということです。真理からの離脱です。そしてその代わりに、悪魔に従うのです。悪魔の教義です。それがパウロがここで言っていることです。テモテは、エペソの教会でとても大きな問題を 抱えていた、とても若い牧師だったことを 理解しておくことが重要です。そのため、パウロは彼を励ますと同時に、何が起きているのかについて彼に指示しています。そしておそらくもっと重要なのは、なぜそれが教会の中で、また教会に対して 起きているのかということ。そして確かにこれは、終わりの日についての 預言的な聖句です。私たちは過去二千年間 終わりの日に生きてきました。私たちにとっての千年は、主にとっての一日のようなものです。これは終わりの日であり、このテモテへの手紙で後に見るように、終わりの日には確かに 危険な時がやってくるのです。そして、終わりの日の教会の特徴となる 教会の状態を描写した、いわば 買い物リストのような物があります。そこでパウロは、ここでテモテに語りながら 始めています。実際に、彼は二つの理由について書いています。言い訳ではありません。なぜ終わりの日に教会が 真理を放棄することになるのかを説明しています。最初のもの1節と2節にあり、それは麻痺した良心です。ここでパウロは、聖霊がこれを明らかにしたと言います。御霊は、終わりの日に、人がどのように 真理から離れ、これらの欺瞞的な霊に従う ことになるかを、はっきりと述べています。そして、それらの悪魔的な教えは 嘘つきの偽善を通してやってくると言います。興味深いです。それは意図的なんです。彼らは故意に嘘をつき、欺きます。その理由は、彼らの良心が、熱い鉄で 焼き付けられたように、麻痺しているからです。つまり、すべての神経末端が 死んでいるということです。真理に対する感受性がなくなってます。それは、麻痺してしまっています。彼らは何の感性も持ってません。なぜそれが重要なかということ、それは、この過程があったことを 示しているからです。彼らは無情にも、うなじをこわくし、真理に対して心を固くしたのです。それがパウロがここで説明しているものです。箴言 29 章 1 節にはこう書かれています。

箴言 29 章 1 節

「叱責されても、なお、うなじを固くする者は、突然打ち砕かれて、癒やされることがない。」

これは、今日の多くの教会のすがたです。悲しいことですが、それらの教会の牧師たちの すがたです。彼らは真理を放棄し、神の御言葉への信頼を失っています。彼らはこれらの悪魔の教義に従い、時が経つにつれ、彼らの心はこわばって硬くなっています。だから、神経末端がなく、感受性がない。彼らは鈍感にさせられているのです。箴言 12 章 1 節。これは私の好きな箴言の一つで、その理由はすぐにわかると思います。

箴言 12 章 1 節

「訓戒を愛する人は知識を愛する。叱責を憎む者は間抜け者。」

だから好きなんです。はい、間抜け者は聖書に含まれてます。大真面目に... これは深刻なんです。なぜなら、ここに記述されているのは、訓戒を受ける者、教えやすい者と、逆にそうでない者との間のこの対比だからです。彼らは矯正を嫌います。彼らは訓戒を嫌い、真理から離れ、自らを危険にさらします。率直に言って、神の言葉では、彼らは愚か(間抜け)です。それは今日の教会を、適切に説明するものだと思います。2つ目を次に示します。それは3節から5節にあります。律法主義です。私はさらに踏み込んで、それはまた、自由主義であることを提案します。律法主義と自由主義は、終わりの日の教会という 墜落しかけてい飛行機の二つの翼です。私はアラブ人が、飛行機の例やたとえを使うべきではないことは知っていますが、それは私が持っている最高のものです。もっと良い例があったら 後で私に知らせてください。パウロがここで言っているのは、これらの人々は、厳格な一連の法的要件を課すものとして、自分自身を装っているということです。彼らは、他の人よりも霊的であると みなされているという大義の下でそうするのです。神からより多くの好意を得ていると 認識されているという理由で。これだけでも悪いのですが、この律法主義はその根底、その核心において、傲慢にも、神に債務者であることを 義務づけています。それは悪魔的な、霊的プライドに他なりません。霊的なブ

ライド。霊的プライドは、真理を受け取る能力を無力にしてしまいます。自分が真理の裁定者であり、真理を持つ唯一の者であると思込むためです。彼らは、自分を欺いているのです。欺かれている人は、人を欺きます。それがパウロがここで言っていることです。これが終わりの日の教会の特徴になる、と。彼らは欺かれ、次に、欺きます。そして、彼らは真理から逸脱し、他人を迷わせることとなります。今日、私たち教会が、この終わりの日に直面する最大の危険の一つは何だと思いませんか？と聞かれたら、これがその答えです。よろしければ、残りの時間は このことを中心に説明します。今日は、私たちのために主からの言葉があると 思うので、十分な時間を残したいと思いました。実際のところ、励ましの言葉です。どうか、落胆しないでくださいそう、これが終末の教会の状態です。でも、そこなんです。それは、あなたが 終わりの日にいることを意味します。これもまた、教会の携挙において 主がもうすぐ帰ってくることの、 もう一つのしるしです。私は、背教に関する、 この難しいテーマに取り組みたいと思います。背教とは、今日の多くの教会が終わりの日に、 神の御言葉の真理と健全な教義から 離脱することを意味します。繰り返しますが、これは終わりの日に教会が どのようになるのかが預言的に成就されたものです。まるで神は、私たちがこれによって不意打ちを 食らわないように、私たちに知って欲しいと 願っておられるようでもしあなたが私のようなら、（そうだと思いますが...）これは、本当にあなたを圧倒するかもしれませんから。今日の教会の状況を見ると、 驚くかもしれません。主要な教派の指導者や牧師が、 ブラック・ライブズ・マターに 明白な賛成の立場を取っているのです。彼らは、悪霊どもを召喚し、 悪霊から行進命令を受けています。預言アップデートでも話しましたが、彼らがやっていることは、 それに伴う破壊は想像を絶するものですそしてブラック・ライブズ・マターに賛成する牧師もいるのです！神がこう言っているようです。「わたしはこうなると言っただろう。彼らは真理から離れていき、そして、悪魔の教義に従うのだ、と。それは起こっているのだ。驚いてはならない。」またしても、それが現実なんです。黙示録第3章を見て下さい。わたしは黙示録が大好きです。14節から読み始めて、22節まで読み進めたいと思います。黙示録の第2章と第3章には、ヨハネがイエスから 書くようにと命じられた七通の手紙があります。これは現代ではトルコとして知られ、当時は 小アジアとして知られていた地域の 実在する教会に送られた実際の手紙です。これらはそれらの都市の教会です。現代、それらの都市の遺跡を 訪問することができます。今はお勧めしませんが。それも、そこへ行く手段があるとしての話です。話が脱線しました。これらは7つの都市にある7つの教会で、イエスはヨハネに、その時代の その7つの教会に手紙を書かせ、終わりの時代の私たちのために、預言的な絵を描いているのです。7つの教会のうちのこの最後の、7番目の教会、ラオディケアの教会は、今日の教会の状態を預言的に描写しています。ここで、私たちが検討し、お話ししたい いくつかの詳細があります。14節、いきなり。これは面白いです。

「また、ラオディキアにある（*ラオディキアの） 教会の御使いに書き送れ。（*英語訳）なぜそれが面白いのか？ それは、その前に出てくる六つの教会は...それはエペソの教会の御使いにではなく、エペソにある教会の御使いに... スミルナにある教会の御使いに、 サルデスにある教会の御使いに、ティアティラにある、ペルガモンにある、 フィラデルフィアにある教会の御使いに。しかし、このラオディケアの教会の時には、彼は「ラオディケアの教会の御使いに」と言います。「それは、わたしの教会ですらない。」覚えておいてください。私たちが直ぐ後で見ると、これはイエスが 外に立っていて、再び入るためにノックしている教会です。彼は、もう中にはいません。本当に面白いことに、ラオディケアとは、” laity” と” diocese [支配する・決定する]” の 二つの英単語を組み合わせたものです。つまり、この七番目の教会、ラオディケアの教会は、自分たちで采配をふるっている教会なのです。彼らが、すべての決定を下しています。俗人（laity）が決め、俗人が支配する。イエスは、この教会の中心の御座という、 正当な場所にはおられません。彼は外にいて、再び入りたいと願っています。

『アーメンである方、確かで真実な証人、 神による創造の源である方がこう言われる——。「わたしはあなたの行いを知っている。あなたは冷たくもなく、熱くもない。むしろ、冷たいか熱いかであってほしい。」 — 15節—

「そのように、あなたは生ぬるく、熱くも冷たくもないので、わたしは口からあなたを吐き出す。」(16節)

あなたのせいで胃の調子が悪くなる。これのどこが面白いかって、ラオディケアは、ヒエラポリスと呼ばれる現代トルコの別の都市の近くに位置していました。「使徒の働き」に書いてあります。ヒエラポリス。実際に、現在も訪れることができます。最も壮大で壮観な温泉です。天然温泉です。信じがたいほど素晴らしい場所です。よかったらネットでヒエラポリスにある天然温泉の 写真を見てみてください。というわけで、ラオディケアがありますね。そこには温泉はありませんでしたが、大変裕福な街でした。ここは、今から見ますが、とても裕福な教会でした。彼らが何をしたかという、彼らは、ヒエラポリスの温泉をラオディケアに 引いてくるために、精巧で洗練された水道システムを 構築したのです。彼らには、金銭的余裕があったのですから、 そうしたらいいでしょう。しかし、ここで問題が。その湯がラオディケアに届く頃にはもう熱くはなかった、ぬるま湯でした。あーあ、ここで彼が言っているのはそういうことだ。彼らにもそれは分かっていたはず。なんてことだ、 いや、彼は言わなかった... いや、言った！喉が渇いた時に、ぬるま湯を飲むと？ いや、ぬるま湯はいらない。冷たい、氷のように冷たい水が欲しい。でも、いや、それすらもない。もちろんここハワイでは、あまり関係ありませんが、私が本土に住んでいた時は、本当に寒い日がありました。熱いコーヒーを飲むのは最高でした。ぬるま湯のコーヒー?? ふざけた説明で申し訳ありませんが、 要点は伝わったと思います。あなたは、熱くも冷たくもない、あなたは生ぬるいさて、17節、さらに興味深くなります。あなたは「自分は富んでいる」と言っているからです。ラオディケアは当時、既知の世界の金融 中心地であり、非常に裕福でした。

ヨハネの黙示録 3章

「豊かになった、足りないものは何もないと 言っているが、実はみじめで、衰れで、貧しくて、盲目で、裸であることが分かっている。」(17節)

「わたしはあなたに忠告する。」彼は教会に向かって話しているんです！

「わたしはあなたに忠告する。 豊かな者となるために、 火で精錬された金をわたしから買い、あなたの裸の恥をあらわにしないために着る 白い衣を買い、…」(18節)

興味深いことに、ラオディケアは当時、 世界のファッションの中心地として 知られていました。そこでイエスは、「あなたがたは最新の素晴らしい ファッションや服を手に入れたと思ってるが、あなたは裸だ」と言っているのです。それに加え、特に眼の分野で、 医療技術の最先端の都市でした。だからこそ、彼は「目が見えるようになるために 目に塗る目薬を買いなさい。」と言ったのです。では、この教会を思い浮かべてみてください。私が頭の中で、想像しているのは、 進歩的で、成長し、輝いている教会、 いかした教会です。駐車スペースが無くなる、早めに行こう！ 挨拶係たちは、「ありのままでお入りください！ 聖書は必要ありません。」そして、座ってみたら、 カッコいい礼拝をしています。つまり、煙霧機とか。 余裕で買えるから。ちなみに余談ですが、牧師が力を込めて 御言葉を説くことを期待してはいけません「誰も嫌な気分させたくないから。」ただ来てください。みんな、歓迎されていると、感じてほしいのです。ねえ、すべての命が大切だ、 黒人の命が大切だ、黄色の命が大切だ、紫の命が大切だ。永遠の命が大切だ、ではありません。あなたは、こんな生ぬるいラオディケアの 教会のような 教会に座ることができます。その教会に座って、 いい気分になって帰れるんです。なぜなら、良心が咎められないからです。そこに、真理はありません！ 偽りです！ねえ、大丈夫だよ。神はすべての人を愛しておられます。ねえ、みんなもっといいところに行くんだよ。クンバヤロ〜、…陰々滅々とししないで.... この教会では、聖書預言を聞くことはないでしょう。ちょっと個人的な話になってきた.... ところで、それは 陰々滅々 (doom and gloom)ではありません。それは”doom and boom! (破滅とブーン)”です！そして私たちはここから消えます。でも、 それは別の機会の別のトピックです。その教会に座っても、イエス・キリストにある、救いの良い知らせを聞くことはないでしょう。なぜか分かりますか？

なぜなら、罪の話は出てこないからです。罪の話がなければ、救い主は必要ありません。そして、それは哀れな病んだ教会です。さらに悪いことに、ここにあるこの記述を、彼らは完全に忘れていたようです。それはプライドのせいです。私たちのパソコンには、ウイルス対策ソフトが入っていて、ウイルスがあるとそれを検出して くれることになっています。そして隔離して... ウイルス、隔離、ヤダー！ 他の例を使えないんですか？ いいえ！ 今頃は非常に高度なウイルスがあり、それは コンピューターのアンチウイルスを無効にし、気づかれずに、発見されることなく、 検出するために存在する機能を無効にするのです。それが、プライドのすることです。それはあなたが察知する能力を 無効にします。言い換えれば、プライドは盲目にするんです。これは教会なのです。 ねえ、私たちを見てください。私たちは裕福で、金持ちです。彼らは、「金銀は私にはない。」と 言うことはできません。（使徒 3:6） 金銀を、おびただしく持っているからです。だから、彼らはまた、「立って歩きなさい」と 言うこともできません。なぜなら、彼らは盲目で、不具で、裸だからです。彼らは、自分たちは立派な服装をして イカしている思っているんです。でも、神は外見を見られません。イエスは心を見て、言われます。「あなたは裸で、みじめで、そして、それに気づいてもない」と。「目が見えるようになるため、目に塗る目薬を買いなさい。」わたしが見るように、あなたが 本当の自分の状態を見ることができるようになる。あなたの問題は、必要としていない、 必要じゃないと思っていることだからです。それはプライドです。プライドではありませんか？ プライドは、はい、必要ありません、 必要ないと言います。これがその教会でした。あなたが真理から逸脱する時、 自分が一体何をしているか分かりますか？ 真理とは誰ですか？ 道であり、真理であり、 命であるのは、誰のですか？ イエス様です。あなたは、イエスから離れようとしている。こんな言い方をしてもいいですか？ あなたはイエスを教会から追い出している。私たちはもうあなたを必要としません。 ここからは私たちがやります。それは悪魔の、霊的プライドです。そして、神が怒っているとは 一瞬たりとも考えないでください。神は悲しんでおられます。主は、彼らに分かせようとしておられます。主は、彼らに理を説こうとしています。まるで、主が、お願いだからと彼らに 懇願しているようなものです。それがこれから見られます。これをわたしから買いなさい。なぜならあなたがたは必要なものは全部持って、 何も必要ないと思ってるから。しかし、あなたがたは自分の本当の状態に 気付いていない。彼は嘆願しています。彼は言われます。「わたしは、愛する者を...」 主は彼らを愛しておられます。「叱ったり懲らしめたりする。」あなたはそれによって知るんです。ヘブル人への手紙の書き手が、 そう語っています。これは、あなたが神の子供であることを 知るためのリトマス試験です。お仕置きを受けるのです。ですね？ というのは。。。あなたは彼の子供であるに違いない。なぜなら、誰か他人の子供のことを 叩くことはないからです。それについて考えてみてください。レストランに行ったとします。あの頃は良かった。幼い子供を連れた家族がいて、 その子たちはわんぱくで... あちこちへ食べ物を投げています。でも、両親は何もしない。あなたはそれを見て、心の中で思います。 あの子供たちはムチで打って、 仕置きするべきだ。私はそこに行って、あの子どもを折檻しないと... という思いでいっぱいです。あの両親を折檻しないといけない。やるべきはそれだ。しかし、あなたにはできない。なぜ？ あなたの子供ではないからです。主は彼らに言っています。 わたしはあなたをととても愛しています。だからこそ、あなたを叱責し、 懲らしめているのです。あなたがわたしの子供でなく、 わたしがあなたをそんなに愛していなければ、 放っておくでしょう。私たちは子供たちを育てていた時、 いつもそれを伝えようとしていました。「私がこうするのは、 お前たちを愛しているからだ。」それに対して彼らは通常、「そんなに愛さないで」と答えました。これはお前たちよりも 私の方がずっと痛いんだ。「そうかな？」というか、考えてみてください。子供を愛していないなら、 叱りもしないだろうし、 懲らしめもしないでしょう。あなたはただこう言うでしょう。 やっちゃえ！ どうでもいいよ。そして、主は言われます。「だから熱心になって悔い改めなさい。」そして 20 節は非常に有名な聖句で、 いつも福音伝道の文脈で使われます。それはいいのです。「見よ、わたしは戸の外に立ってたたいている。」しかし、その真の文脈では、それは、 未信者の心の扉をノックしているものではありません。イエスがそうしないというわけではありません。もち

ろん、そうされます。誰ひとりとして滅びるのは、神の意志ではありません。しかし主は、ご自分を外に放り出した教会の扉を ノックしているのです。そういうわけで、こう言われるのです。 20 節です。「見よ、わたしは戸の外に立って...」、ここで停めましょう。ラオディケアの教会から 主が去って行かなくて、良かったと思いませんか？ 彼はまだドアの前にいます。彼はあきらめていません、あなたをととても愛しているからです。彼はドアの前に立って、ノックし続けています。しかし、彼らには聞こえません。だって、ロックコンサート中だから。音が大きすぎて... その教会の礼拝は... すみません、言うつもりはなかったのですが 突然出てきました... でも、お好きなようにどうぞ。そして、彼はこのように言います。

「だれでも、わたしの声を聞いて戸を開けるなら、わたしはその人のところに入って彼とともに 食事をし、彼もわたしとともに食事をする。」

さて、私たちの時代と、文化では、完全にこれを見逃してしまいます。その重要性について。聖餐をとともにいただく際には、 私たちはいつもこのことを話します。パンを割って一緒に食べることの重要性、その意義を。あなたは、死に至るまで切れない絆を築きます。ここアメリカでは、それは何の意味もありません。だから何だと？ 中東では今日に至るまで、すべてが食べ物を中心に行っています。とにかく、私はそういう事にしておきます。しかし、その理由は、それが平和をもたらすからです。それは、お互いに敵意を持っていた人々を 一つに結び付けるのです。何年も前の若い頃、私の家族に 確執があったことを話したことがあります。本当の家族の確執です。アラブ人の確執を見るまで、あなたは本当の確執を見たとは言えない。私たちは、喧嘩する方法を知っています。それについて本も書いたし。それは、7年間続きました。とにかく、ひどかったです。子供の頃の記憶ですが、特に休みの日は... 「ああ、彼らが行くのか？ ああ、私たちは彼らの後に行かないと。」それはとにかく酷いものでした。そしてついに、一緒に集まる機会があり、 巨大なごちそうの準備がありました。それは数ヶ月かかりました。共に集まり、共に食べることが、 彼らが互いに和解する方法でした。それがイエスがここで言っていることです。私たちは共にパンを裂き、 共に食事をする必要があります。「私はあなたと共に食事をし、あなたも私と共に食事をする。」それこそが、彼が求めているものです。あえて言うならば、彼らにそうするようにと懇願しているのです。そして 21 節で、彼はこう言っています。

「勝利を得る者を、わたしとともに わたしの座に着かせる。それは、わたしが勝利を得て、わたしの父とともに 父の御座に着いたのと同じである。」 (黙示録 3 : 21)

そして 22 節。7つの手紙すべてが、このように終わっています。「耳のある者は…」それは修辭的ですが。私には耳があります。実際、二つあります。これについて、今週の木曜日の夜に話しました。

こういう言い回しを知っていますか？ 「神はあなたに二つの耳と、一つの口を与えた。「だから、あなたは話す分の2倍、聞くのです。」それは私のために書かれたものです...そしてまた、私はこれにいくつかのコメントを受けましたが... 私たちには耳のふたがないことに 気づいたことがありますか？

木曜日の夜にも同じ反応だったので、そのままにしておきます。私たちには、まぶたがあります。私たちは目を閉じることができますが、 耳を閉じることができません。しかし、私たちは耳を閉じます。あなたは誰かの話を聞きながら、しかし、本当は聞いていない事がありますよね？ つまり... あなたはコツをつかんでます。あなたは、「ああ、うん、」と適当に相槌をはさみ、 聞いているフリをすることはできます。しかし、あなたは聞いていません。彼らは話していて、そしてあなたを捕えます。彼らはこう言います。「あなた、聞いている？」 — 「ああ、聞いているよ...！」 「じゃあ、私は何て言った？」 — 「えっと...」 「うん、もう一度話して。」 — 「ああ、聞いてなかったんだね。」言い換えれば、耳があるからといって 聞いているわけではありません。どうやら、彼らには耳はあっても、 彼らは聞いていない。だからイエスはこう言っています。

「耳のある者は (あなたには耳がありますね)、 御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。」 (黙示録 3 : 22)

これについても一つ言わせてください。それから次に、フィラデルフィアの教会に移ります。聖霊は語りかけますが、彼は、かすかな細い声で語るのです。やはり、私たちは木曜日の夜に このことについて話しました。私たちの問題は、私たちの生活の音量が非常に大きくて、聞くことが出来ないということです。私たちには耳はあるのですが、聞くことができません。私は、高校のボウマン先生の話をしたことがあります。彼は本当に柔らかい話し方で、単調で、非常に小さい声の人でした。私は、初日の授業を決して忘れません。私たちは皆、「ヘィ！」と騒がしいのですが、彼はこのように始めます。「さて、皆さん、自分の席に着いてください。今日の授業を始めます。」（静かな声で）そしてもちろん、私ときたら、これを誇りに思っはいませんが、こんな感じで言います。「おい！聞こえないぞ、もっと大きな声で話せよ！」それに対して彼が言ったのは、「いいえ。」「静かにしなさい。」「これが私の話し方だ。」「もしあなたが、私が話すことを聞きたいのなら、あなたが静かにしなければならぬ。そうすれば聞こえる。」そして、私はそうしました。実は、彼は私のお気に入りの先生の一人でした。私は実際に、10年目のクラス同窓会で、彼に伝える機会がありました。「ボウマン先生、知って頂きたいのですが、あなたは何度も私の説教の実例になっておられます。」「私はただお礼を言いたかったんです。私は先生が大好きです。」そして、私は、神がどのように話されるかの例としてそれをいかに使うかを説明しました。いいですか、神は競争されません。私たちの注意を引こうと、色んな声が騒ぎ立てています。それは、神がこう言っている 感じ です。「わたしは神だ。わたしは それに対抗するつもりはない。」私はエリヤについて考えます。木曜日の夜に彼について話しました。私はこの男に会うのが待ちきれません。なんてすごい男なんでしょう。モリヤ山？（*正しくはカルメル山）でのコンテストの後で、（ああ、大変な一週間だったので...）とにかく…バアルの預言者たちと。エリヤは天から火を呼びおこし、彼らが何も出来なかった後に、捧げものを焼き尽くします。そして、彼はバアルの450人の預言者を殺します。その後、イゼベルはそれを耳にして、こう言います。「明日の今頃、あなたが預言者にしたのと同じことをあなたにする。」そして、エリヤはどうしますか？彼は命がけで逃げます。彼は命を狙われています。彼はこの洞窟に駆け込み、隠れています。そして、神が来られます。まず、この大きな地震があります。「ああ、確かに神は地震の中にいて、大地震を通して語るのだろう。」神は地震の中にはいません。その後、そこにこの強力な大風が来ます。「ああ、確かに…」私たちが話しているのはエリヤです。「神は風の中にいて、力強い大風の中で語るのだろう。」いいえ。彼は力強い風の中に居ません。そして、3番目のもの。あなたは確信するでしょう。「火」です。なぜでしょうか。これについて独断的ではありませんが、しかし、私は本当に、エリヤは火が大好きだったのだと思います。こういう人達を何と呼びますか？放火魔？そうですね？なぜなら、彼は火を呼び出し、その後、火の戦車に乗って天に昇っていくのです。だから確かに神は、彼がエリヤと話したいなら、火を使うでしょう。それがこの男が夢中になっているものだから。しかし、神は火の中にいません。では、神はどこにいるのか？ああ…かすかな細い声。この話をするたびに年齢がバレるのは分かっていますが、70年代にこのシャンプーのコマーシャルがあり、この女性が、こう言います。「もしあなたが誰かの注意を惹きたいなら…？ ささやくの。」それは私の注意を引きました。「何と言いました？」—「はい。」（ささやく声で）そうやって聖霊は私たちの注意を引くのです。私が毎週しているように、誰かがあなたに怒鳴っていると…あなたは無視します。そうですね？つまり、ある音域に達すると…私の母は…彼女は良い母でしたけど、彼女は強い訛りでこう叫ぶのです。「ワヒドー！」私は自分がピンチだったのは 分かっていました。しかし、彼女がそのオクターブで叫ぶと、それは2オクターブ高くて、そこに達すると、もうおしまいです。私には何も聞こえません。私が聞いたのは、ただ「ラーラーラ…」私には何も聞こえませんでした。私は完全に彼女の言うことを無視しました。そこで、すごくまれに、彼女が私のところに来て、非常に静かにこう言う時…「ワヒド、来なさい。話があるから。」（ささやきながら）—「ええ…何?!」皆さんが今私を見ているように、「何?!」と。それが聖霊です。そのように、彼は語るのです。「耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。」音量を下げてください。そうすれば、聞こえるのです。私は今、非常に罪を示されましたので、

フィラデルフィアの教会に移ります。同じ章で、黙示録3章7節からです。「また、フィラデルフィアにある 教会の御使いに書き送れ。…」 ”フィラデルフィアの”ではありません。「フィラデルフィアにある教会の御使いに書き送れ。『聖なる方、真実な方、ダビデの鍵を持っている方、…』面白いです。彼は何を開くのでしょうか？「彼が開くと、だれも閉じることがなく…」、ロックダウン（都市閉鎖）の中でさえも！またもや、そう書いてはありませんが… 言ってみました。

「彼が閉じると、だれも開くことがない。 その方がこう言われる——。」（黙示録3:7）

そして、彼はこう言います。8節。「わたしはあなたの行いを知っている。見よ。わたしは、だれも閉じることができない門を、 あなたの前に開いておいた。あなたには少ししか力がなかったが…」わたしはあなたが、 かりうじて踏ん張っていることを知っている。「（しかし、）あなたはわたしのことばを守り、…」あなたは真実から離れていない。

「あなたはわたしのことばを守り、 わたしの名を否まなかったからである。」（黙示録3:8）

「見よ。サタンの会衆に属する者、すなわち、ユダヤ人だと自称しているが、実はそうではなく、嘘を言っている者たちに、わたしはこうする。見よ。彼らをあなたの足もとに來させてひれ伏させ、 わたしがあなたを愛していることを知らせる。」（黙示録3:9）

「あなたは忍耐についての わたしのことばを守ったので、」ここは重要です。「地上に住む者たちを試みるために 全世界に來ようとしている試練の時には、 わたしもあなたを守る。」（黙示録3:10）それが7年間の患難です。

「全世界に來ようとしている」？ これは7年間の患難のことです。そして、イエスは、彼の名前を否定せず、 真理から離れていないこの教会に、彼のことばを守り、少しの力でしがみつき、 糸一本でかりうじて繋がっているこの教会に イエスは何と言っているのか？その約束とは、「わたしはあなたを連れ出し、 全世界に來ようとしているものからあなたを守る。」ただ踏ん張って！ もしあなたが、この教会への手紙に 表題をつけて要約するとしたら、 このような感じになるでしょう。「かりうじてしがみついているのは分かっている。 もう長くはない。もうすぐだから。」「しがみつけていなさい。」「わたしはあなたがかろうじて しがみ付いていることを知っている。 少ししか力がないことを知っている。」私はイエスが言ったことを思い出します。

「私が戻る時、はたして 地上に信仰が見られるでしょうか？」（ルカ18:8参照）

それは、イエスが戻って來られる時の、 彼の教会の状態を非難しています。教会は、こんな状態になるのです。教会は、こんな姿になるのです。そして、彼はそれを認めていて、 彼はこの教会を励ましているのです。7つの教会の中で、主に叱責されなかった教会は 2つしかなかったことをご存じですか？ スミルナの教会と、 このフィラデルフィアの教会。興味深いのは、名前です。繰り返しますが、 ラオデキアは「俗人 (laity)」 「決定・支配する 采配する」という意味。フィラデルフィアは「フィリア」という ギリシャ語から来ています。兄弟愛です。それがこの教会を説明しています。あなたが本当にわたしの弟子であることを、 人々はどのように知るのですか？ あなたの愛、互いの愛によって知るのです。あなたの聖書の大きさや、 あなたの車のステッカーではなく、あなたたちの愛によって…あなたたちがお互いにどのように接するのか、 人々はそれによって知るのです。スミルナ。その名前は ミルラ（没薬） / 苦いハーブから来ています。それは砕かれると、見事な香りを放つものです。これが、砕かれ、迫害されていたスミルナの教会で、 彼らは全く叱責されませんでした。名前は性質であり、名前が説明しています。7つの教会すべてを見ていくと、その名前は、その特定の教会の状態を 適切に説明しています。私はこれについて考えていました。先週、特に。私たちがまだここにいるなら、 この先の日々にも。今日の教会で何が起きているのか 本当に興味深いですよ？ 私が読んだ記事によると、 5つに1つの割合で教会が閉鎖していて、 二度と開くことはないそうです。5つの内1つ、それは20%です。それらはなくなりました。そして今、 教会の間で内輪もめがあつて…それがどれほど酷いか、 皆さんには 見当もつかないでしょう。それはどんどん悪化しています。それはまるで、決断の時のようです。この捏造されたパンデミック、 それはまさにそうなんです、それが 今日の教会の真の姿をさ

らけ出したのです。そして、おそらく皆さんと同じように、私は少し驚いていることを告白しなければなりません。私はそれに少しびっくりしています。正直なところ、私は不意打ちをくらいました。牧師たちはお互いに戦い、教会はお互いを攻撃しています。彼らは閉じている！彼らは開けている！戦いだ！彼らはマスクを着用させる！彼らは着用させない！戦いだ！つまり、何でもかんでもそれが争いになりうるのなら、彼らは争っています。そしてそれにとどまりません。私がブラック・ライブズ・マターを持ち出し続けるのは、それが適切だと思うからです。ブラック・ライブズ・マター/黒人の命は重要ではなく、「永遠の命」が重要なのです。ブラック・ライブズ・マターに賛同している牧師たちがいます。そして、かろうじてしがみ付いている他の牧師たちは、こう言っています。「一体何をしているんだ?!」何をしているんですか？本当のところは、主は、ずっと前に彼らが離れた時、離れられたのです。すると、こうなるのです。それは、真理と健全な教義から離れたことの結果に過ぎません。そして、彼はこう続けています。11節。私はこれが大好きです。とにかく、すごく好きです。「わたしはすぐに来る。…」 「…しっかり保ちなさい。」 なんとということでしょう。どうしてわかったんですか？つまり、ここに私がいて、ここにあなたがいます。私はただしがみついています。「わたしはすぐに行くから。しっかり留まっていなさい。」

「わたしはすぐに来る。あなたは、自分の冠をだれにも奪われないように、持っているものをしっかり保ちなさい。」 (黙示録3:11)

「わたしは、勝利を得る者を、わたしの神の神殿の柱とする。彼はもはや決して外に出て行くことはない。」 (黙示録3:12)

これがまた面白いのは、ラオディケアの教会と同じように、本当に7つの教会すべてがそうだったからです。イエスは、彼らが当時、その街で知っていた事を比喩的に話しています。フィラデルフィアの興味深い点は、地震が多かったことです。そして、すべての建造物と柱が転がり落ちてきて、そして、彼らは破壊された街を離れなければなりません。なので、彼が「わたしの神の神殿に柱を造り、彼らはもう二度と外に出て行かない」と言う時、彼らはそれを理解したのです。「ただ、持ちこたえなさい。」彼はこう言います。私はこの部分も大好きです。私は実際、全部が大好きなんですが…

「…わたしは彼の上に、わたしの神の御名と、わたしの神の都、すなわち、わたしの神のもとを出て天から下って来る新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書き記す。」 (黙示録3:12)

そこです！私は、新しい名前が待ちきれません。私は自分の名前が好きではありません。だって、考えてみて下さい。「カエル/ frog」私は新しい名を手に入れます。ご存知ですよ。新郎が花嫁と結婚するとき…私のかawaiiそうな妻、美しい名字「リン」が…、「カエル」に変わりました。しかし、これは、花婿が花嫁にこう言っているのです。「あなたには私の名前が付けられる。」ところで、預言アップデートでこのことについて話しましたが、神は、「すべての都市、すべての部族から、わたしはわたしの名を置くために、エルサレムを選んだ。」と言われます。「わたしの所有を示す名を。」すべての都市の中から選ばれたエルサレムに。そして、神の名の中にあるシン(ヘブル語)が、文字通りエルサレムにあると知った時には、それはとても魅力的です。それが彼がここで言っていることです。

「わたしはあなたに、わたしの名を書き記す。」「わたしはあなたに新しい名前、新しい性質を与える。」そして、13節。「耳のある者は、御霊が諸教会に告げることを聞きなさい。」今日の教会に、神の御霊は何を告げているのでしょうか？神の御霊が今日教会に告げているのは、「騙されてはいけない。」「真理から離れるな。」「これらの悪魔の教義に従ってはいけない。」「持ちこたえなさい。」「わたしはすぐに来る。」「わたしはあなたに少し力がないのは知っている。」「そして、わたしはそれが大変なのを知っている。」「そして、あなたがしがみ付いているだけでなく、ある意味でたった一人で立っていることも分かっている。」「ただ、それほど長くはない。」「わたしはすぐに来る。」皆さん、お立ちください。祈りましょう。

主よ、ありがとうございます。主よ、私たちは教会として、聖霊が私たちに語りかけていることを聞く耳のある者と数えられることを祈ります。私はそれらの霊的な神経末端のために祈ります。それらが

何らかの形であなたの真理に鈍感に なってしまっているなら、私たちはいつも真理を受け取り、それを聞き、それを心に留めますように。主よ、私たちは忠実であると、認められたいのです。そして、私たちはしがみ付いています、主よ。特に今日の世界と教会で 色んな事が起こっている中で。それはまさに、あなたが告げられた通りです。主よ、私たちを強め、励ましてください。もしかしたら、この教会にいる方か、オンラインで見ている方で、非常に落ち込んで落胆し、その落胆が絶望へとつながっているかもしれない人のために祈ります。あなたが彼らを元気づけてくださいますように。彼らが持ちこたえながら、頭を起こしますように。あなたは、もうすぐ来られますから。主よ、早く来てください。マラナタ イエスの名によって、アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7